

事業者向け

放課後等デイサービス評価表

仙台泉地域福祉事業所 高森杜っこ

2022年 1月実施(7名中7名回収)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	意見
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・適切なスペースを保つために定員内での利用としている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・曜日によっては足りない時がある。余裕のあるシフト作成をしたいため、必要に応じて求人募集をしている。また、個々の体調管理にも努めている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・室内は手すり有り、トイレは車椅子対応。玄関にスロープを付ける予定。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・毎月の会議や日頃のコミュニケーションの中で振り返りや課題に取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・評価を受け止め、課題に取り組む。また、要望等には出来るだけ応えられるよう検討している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ワーカーズコープのホームページに載せている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月の支援研修や、団体内の研修に積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・日頃の様子等をスタッフ、保護者や関係機関と情報共有し、面談等で確認しながら作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・年に2回、保護者様との面談時にアセスメントシートの見直しをしている。また、必要に応じてその都度変更している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・スタッフ全員で検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・スタッフだけではなく、子どもたちと一緒に活動内容を考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・時間や人数等、状況に応じて活動内容を考えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・一日の中で、集団活動と余暇活動を取り入れ個別活動の時間を設けている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日決まった時間に打合せを行い、活動等を確認している。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日送迎後に、振り返りの時間を設け共有しているため、その日のうちに課題の検討が出来る。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・連絡帳やミーティング記録を活用している。その都度改善をしていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・普段の気づきをスタッフや保護者と共有しているので、課題を話し合っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・スタッフ間で話し合い行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者と場合によっては担当スタッフも出席している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校と密な連携を取る様に心がけている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当児不在
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	該当児不在
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・担当者会議等で共有をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・必要に応じて連携していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・近隣保育施設との交流をコロナ禍でも出来る方法で行っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・検討する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や電話、メール、送迎時で共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・必要に応じて相談や助言等を行っている
保護者	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や面談で説明をしている。丁寧な説明を心がけていく。

への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・その都度、スタッフで共有し支援をしている。今後も他現場スタッフとも相談し対応していく。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・コロナ禍なので控えているが、今後開催し連携を支援していきたい。
非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・その都度スタッフ、他現場スタッフと共有し適切な対応が出来るよう努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・連絡事項や活動等を載せたお便りを定期的に配布している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・気になることは相談しながら注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・スタッフ間で情報共有し、今後も十分配慮していく。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・コロナ禍が落ち着いたらしていきたい。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・適宜見直し等行い周知していく
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月1回曜日を変えて避難訓練を行っている。	
④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・年度初めや研修会で虐待防止について確認している。	
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・契約時に説明をして計画書に記載している。	
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・指示書が無い場合は、保護者や本人と連携しその都度対応している。	
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・その都度作成し、共有している。	